

第3回定例会

(10/10までに可決した議案)

- 令和4年度一般会計補正予算
主に、次の内容で総額535億5,950万円を補正するものです。
 - ・新型コロナウイルス感染症予防接種費追加
 - ・ウインタースポーツ普及振興費追加
 - ・道路除雪費追加
 - ・電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金
 - ・介護保険施設等食材費高騰対策特別支援金
- 札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例案
- 第2次札幌まちづくり戦略ビジョン(ビジョン編)策定の件など、合計26件の議案を可決しました。

委員会の主な活動状況

(9/11~10/10)

総務委員会
路面電車の延伸検討結果の報告についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(9/21)
篠路駅周辺地区まちづくり計画(案)についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(10/4)

第一部・第二部決算特別委員会
副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(9/30)
令和3年度の決算を審査しました。(10/7)

お知らせ

インターネット配信
本会議や特別委員会の模様は、インターネットで生中継しているほか、会議終了からおおむね5日後(土・日曜、祝・休日を除く)には、録画映像も公開しています。市議会ホームページからご覧ください。

会議の日程を調べるには?
本会議や委員会の開催日程は、市議会ホームページの「会議日程」のページでお知らせしています。随時、最新の情報に更新していますので、ぜひご覧ください。

- 編集 札幌市議会事務局 政策調査課
- ☎211-3164 FAX218-5143
- 市議会ホームページ
- www.city.sapporo.jp/gikai

新たな地域密着型雪処理施設の候補地

としのと 穂田 稔人
自由民主党



問 昨冬の大雪では市内全域で除排雪の遅れが生じ、特に白石区では雪堆積場などが少ないことから大きな影響がありました。未処理下水を利用した地域密着型雪処理施設であれば、白石区南地区のように市街化が進み雪堆積場の適地が少ない地区でも整備が可能であり、そのような地区から整備を進めるべきだと考えますが、いかがですか。

答 これまで3カ所の地域密着型雪処理施設を整備し、現在は新たな施設について、下水の流量や周辺への影響などを考慮しながら、整備の可能性を検討しています。今後も雪対策施設の効果的な配置により、効率的な雪対策につなげていきます。



障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション

ゆみ たけのうち 有美
民主市民連合



問 障がいのある方の情報取得などに関する「障がい者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の制定を踏まえ、当事者の声を吸い上げ、全庁で共有し、普及啓発などの推進が必要だと考えますが、いかがですか。

答 今回制定された法律と本市のコミュニケーション条例は考え方を同じくしており、これまでさまざまな施策に全庁的に取り組んできました。今後は、障がいのある方の意見を参考としながら、庁内で合理的配慮の好事例を共有するとともに、市民理解の促進を図り、情報取得などがしやすい環境づくりを進めます。



問 清田区は区民センターと区役所が離れた位置にあり、それによる区民の不便などを解消するため、清田区民センターを区役所周辺に移転させるべきだと考えますが、いかがですか。

答 清田区民センターの区役所周辺への移転は、区民の利便性向上に加え、区役所周辺の交流人口が増加し、都市機能集積のきっかけともなり得るため、できるだけ早期に実現させたいと考えています。



招致活動への市民の意向
路面電車利用者の利便性

かおり おがた 香織
日本共産党



問 2030年冬季オリンピック・パラリンピック大会招致について、東京2020大会の汚職問題の影響で反対する市民の声が広がっており、招致を断念するべきです。今からでも住民投票を行うべきだと考えますが、いかがですか。

答 市民の方々と話をすると、大会運営費が全て税金で賄われると誤解している方もまだ多いと感じます。引き続き、市民の声に向き合い招致を進めたいと思いますが、議会でのさまざまな議論を含め住民投票は考えていません。

問 本市は路面電車の延伸はせず、次世代の公共交通手段を導入して円滑な接続方法を検討することとしています。しかし、既存の路線の利用者にとって、乗り換えが必要であれば利便性は高まらないと思いますが、いかがですか。

答 今後検討する新たな公共交通システムは、軌道などがなく、さまざまな乗降場所の設定が可能となるので、公共交通手段としての利便性は高まると考えています。乗り換えについては、できるだけ負担が少なくなるよう検討していきます。



大雪対応の予算
長引く物価高騰などへの対応

けんたろう 恩村 健太郎
民主市民連合



問 大雪時に速やかな対策を実施するためには、あらかじめ予算を確保しておくことが重要です。本定例会に上程された補正予算案には、昨冬の大雪を踏まえて策定した大雪対策に必要な費用が計上されましたが、来年度以降の大雪対策はどのように予算を計上していきますか。

答 補正予算案では排雪作業の前倒しと強化に必要な費用を計上したことにより、今冬は初冬期の大雪への迅速な対応が可能となり、市民生活への影響を最小限にとめられると考えています。令和5年度以降は、初冬期の大雪対応を当初から一定程度想定して予算化します。

問 長引く物価高騰などが市民生活に大きな影響を及ぼしているため、本市は国や北海道と歩調を合わせた対応だけでなく、市民や市内事業者の状況に寄り添った対応が必要だと考えます。市民生活の安心と円滑な社会経済活動を確保するため、どのように対応していきますか。

答 これまでは水道料金の減額に加え、子育て世帯や事業者に対する独自の支援を行ってきました。長引く物価高騰などは、低所得世帯や事業者特に大きな影響を与え、その傾向は年末年始に向けて顕著になると推測しています。今後は、これまでの本市の支援策や、今後の国・北海道の対応、札幌の地域特性も踏まえ、低所得世帯などへ独自の支援が必要だと考えています。



冬のみちづくりプランの実行プログラム
清田区民センターの移転

なつたけ 竹内 孝代
公明党



問 「冬のみちづくりプラン2018」の実施内容や目標を定めた実行プログラムは、昨冬の大雪の経験を踏まえ、少子高齢化の社会情勢や先進技術の発展も考慮した整理が必要で、来年度以降の冬に向け、後期の実行プログラムではどのような取り組みを重点的に進めますか。

答 建設業の労働力や先進技術の動向調査のほか、市民意識の変化を踏まえ、後期の実行プログラムでは、生活道路の除排雪の在り方検討やICT活用による効率化・省力化、大雪に備えたテレワークの働きかけといった市民・企業との連携強化などに取り組みたいと考えています。

市議会の動き

9月21日に招集された第3回定例会の中から、9月28日、29日、30日の代表質問の主な内容や、10月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

町内会への住民組織助成金
区役所窓口でのデジタル技術活用

たくし 村山 拓司
自由民主党



問 町内会の加入率は右肩下がりで、町内会費収入の減少が見込まれるため、町内会の自主的な運営や活動に対して交付される住民組織助成金の増額が必須です。各町内会が来年度の活動を決定するまでに、どの程度増額するかを表明するべきだと考えますが、いかがですか。

答 これまでの町内会との意見交換会などにおいて、町内会活動の経費負担の軽減を求める声が多くあったため、住民組織助成金の増額が必要だと認識しており、令和5年度当初予算の編成の中で検討を進めていきます。

問 区役所窓口での各種手続きは、市民が区役所に行って紙の申請書に記入するものが多く、その負担軽減が求められているため、手続きのデジタル化を進める必要があると考えます。デジタル技術を活用した区役所窓口のサービスアップについて、どのように取り組みますか。

答 デジタル化の進展や市民ニーズの変化に応じたサービスアップのため、オンライン申請の拡充や、区役所に行かずに相談などができる仕組みを検討しています。区役所で手続きを行う場合でも、申請書の作成支援やワンストップ窓口など、より簡単に早く手続きができる仕組みを検討し、全庁一丸となり、「行かない」「書かない」「待たない」区役所の実現に取り組みます。

